

## 桜事情

内藤 真理子

今年は桜が早かった。東京は早々と咲いて、入学式にはほとんど散っていた。東北も例年より二週間も早く咲いているそうさ。

夫がまだ現役の時、我が家は親や弟一家と同じ敷地内に住んでいた。五月の大型連休になると、逃げるように夫婦で旅行に出ていた。大抵は東北に……。旅行代金が他に比べて安かったのだ。

東北地方は連休に合わせて桜を開花させていると聞いていた。

忘れられないのは弘前城公園の桜だ。

満開の桜の下、広い栈敷が出来ていた。大勢の人々に交じって私達も、広い縁台の栈敷席を確保した。その日は青森泊り、ドライブ旅行の私達はクルマを宿に置いて来た。心置きなく飲める！

まずはビールで乾杯。おでんを注文したら、東京の倍以上の量が入っている。他にも、何を注文しても量が多く、値段が安い。東北人は欲がないのだろう、などと舌鼓を打ち満悦した。

青森に赴任したことがある友人の話だと、寒い東北に春が来て桜が咲くと、待ちに待っていた人々が、一斉にお花見をするそうさ。それこそ、お正月のように沢山の料理を作ってお弁当に詰めて、近隣一帯、弘前城公園で大宴会をしたのだそうさ。

翌朝、宿のテレビを見ていたら、角館の満開の桜が映っている。

前に見た映画、山田洋二監督、主演の武田鉄矢が学校の先生の役で、

「思えば遠くに来たものだ」と言いながら、満開の桜の土手を自転車で行く映像が浮かんで来た。

「行こう！」

角館は、枝垂桜の美しい武家屋敷の並ぶ整然とした街だった。そして、あの映画に出てきた鈴木内川の堤の桜並木。川の両側に二重に満開の桜が何処までも続く土手。圧巻だった。

このところ世界中が異常気象の様相を呈している。これぞ天の采配か。

ムム！ ならば桜の早咲きも……。